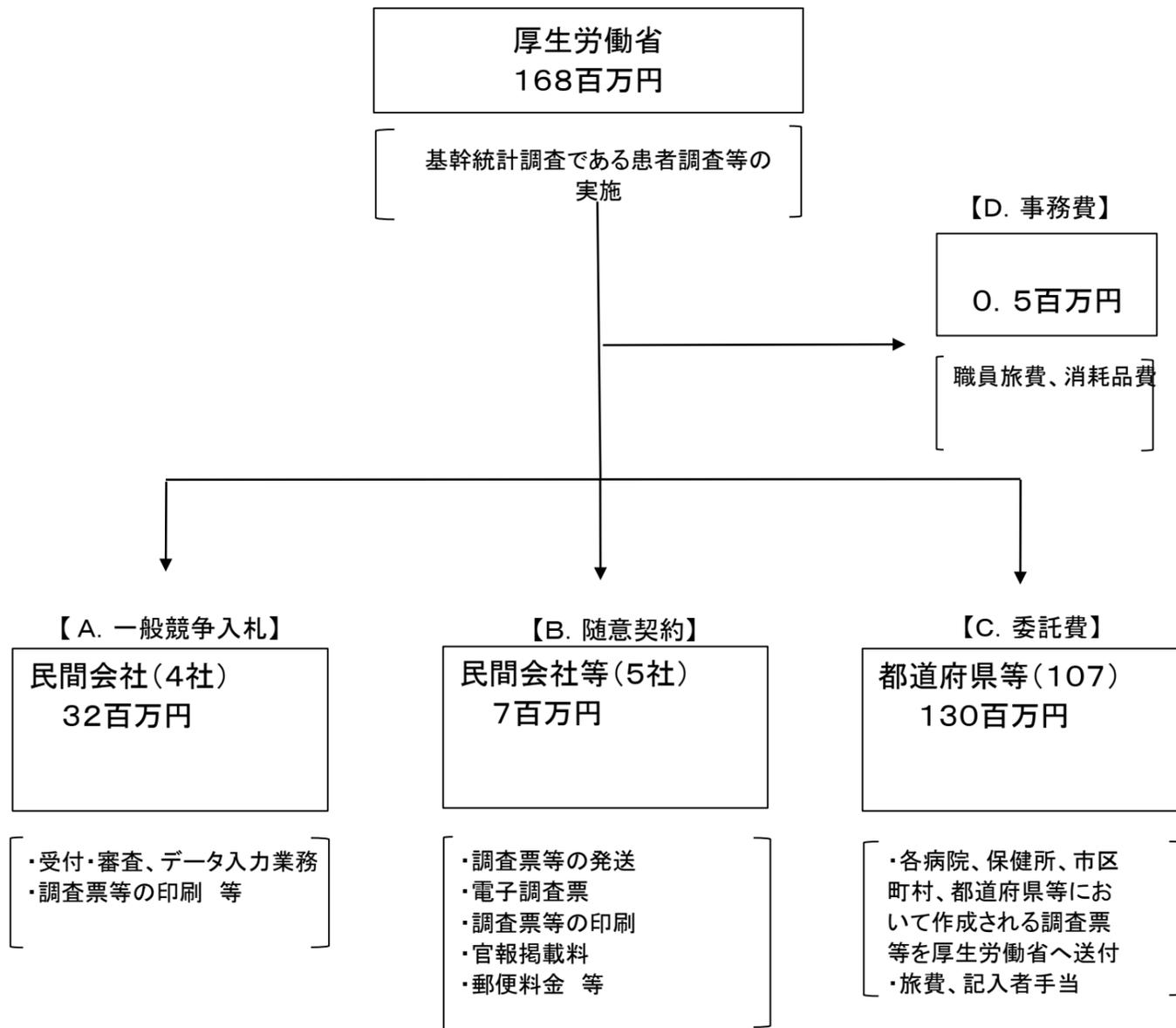


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	受療状況調査費	担当部局庁	大臣官房統計情報部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和28年開始	担当課室	人口動態・保健社会統計課 保健統計室	室長 瀧村 佳代			
会計区分	一般会計	施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	・統計法(平成19年5月23日法律第53号)第2条第4項 ・患者調査規則(昭和28年7月6日厚生省令第26号)	関係する計画、通知等	「医療計画」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	基幹統計調査である患者調査、一般統計である受療行動調査を実施し、医療施設を利用する患者の傷病状況等の実態及び受療した患者の医療に対する満足度等の認識を把握し、医療行政の基礎資料を得る目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	患者調査は、全国の医療施設を利用する患者の傷病状況等について、医療施設が患者の診療録の内容に基づき調査票を記入し、管轄する保健所・都道府県を經由して厚生労働省に提出されるもので、3年に1度実施されている。受療行動調査は全国から抽出された医療施設を利用した患者(入院・外来)が調査票を記入し、管轄する保健所・都道府県を經由または直接郵送により厚生労働省に提出されるもので、3年に1度実施されている。それぞれ提出された調査票は、厚生労働省において審査・集計し、翌年度に調査結果の公表を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	8		222	7	
		補正予算					
		繰越し等			▲ 33		
		計	8		189	7	
		執行額	5		168		
	執行率(%)	64.0		88.9			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	この事業は、省内各部局が実施している各種施策に必要な基礎資料を得ることを目的として実施するものであるため成果目標を設定していない。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	①客体数、②公表予定 (患者調査) ①3,321,000(当初見込み)②H24.10月下旬 (受療行動調査) ①200,075(当初見込み)②H24.9月下旬	活動実績 (当初見込み)	客体数	-	-	※未公表のため -	-
				(-)	(患者調査) 3,321,000 (前回実績)	(-)	
					(受療行動調査) 200,075 (前回実績)		
単位当たりコスト	48 (円/客体)	算出根拠	執行額(168,433,285円) ÷ 客体数(3,521,075(当初見込みの計))				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	印刷製本費	7	0	患者調査、受療行動調査が未実施年のため減			
	計	7	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・ 況・ 予算の 状	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	医療施設を利用する患者の傷病状況や医療への満足度を把握し、医療行政の基礎資料となるもので、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	基幹統計であり、医療行政の基礎資料となるもので、国が実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	一般競争入札の結果、入札差金が発生したためである。
資金の 流れ、 費目・ 用途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	随意契約については会計法令上認められている少額の随意契約である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	適正な予算執行及びコスト削減に努めている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	必要最小限に限定されている。
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業の目的を達成していることから、実効性は高いと考える。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	成果物は、厚生労働行政をはじめ各種施策の基礎資料となっており、十分に活用されている。
点検結果	<p>調達に当たっては、可能な部分について一般競争入札を実施する等、引き続き効率的な実施に努める。 また、調査結果については、わかりやすくポイントを示すなど国民にわかりやすいように公表資料を作成し遅延なく公表する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
-			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
-			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	8	平成23年行政事業レビュー	8

※平成23年度実績を記載



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.株式会社メディウエル			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	受付・審査及びデータ入力	19			
計		19	計		0
B.郵便事業株式会社			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
通信運搬費	郵便経費	4			
計		4	計		0
C.東京都			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
記入者手当	記入者手当	4			
庁費	郵送料、消耗品購入費等事務費等	3			
調査員手当	統計調査員への手当	2			
調査協力謝礼	調査協力謝礼	0.6			
調査員交通費	調査員の交通費	0.5			
職員旅費	会議出席旅費等	0.1			
計		10.2	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.民間会社(4社)【一般競争入札】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)メディウエル	受付・審査及びデータ入力	19	12	52.7%
2	(株)第一印刷所	調査票等の印刷	6	7	83.0%
3	大和綜合印刷(株)	調査票等の印刷	5	4	71.1%
4	株式会社SAY企画	データ入力	1	11	84.6%
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.民間会社等(5社)【随意契約】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	郵便事業株式会社	郵便料金	4	随意契約	
2	株式会社オリエンタル物流	調査票等の発送 2件	2	随意契約	
3	株式会社SAY企画	電子調査票	0.8	随意契約	
4	統計印刷工業株式会社	調査票等の印刷(全国厚生統計主管係長会議資料)	0.3	随意契約	
5	独立行政法人国立印刷局	官報掲載料(入札広告)	0.1	随意契約	
6					
7					
8					
9					
10					

C.都道府県等(107)

	出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	各病院、保健所、市区町村、都道府県等において作成される調査票等を厚生労働省へ送付	10		
2	北海道	同上	4		
3	大阪府	同上	4		
4	埼玉県	同上	3		
5	千葉県	同上	3		
6	愛知県	同上	3		
7	茨城県	同上	3		
8	横浜市	同上	3		
9	札幌市	同上	2		
10	名古屋市	同上	2		

D.事務費

	出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社三陽堂	ストックケース、ラベル	0.1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					